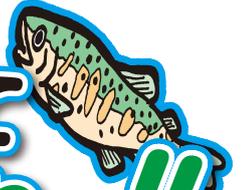


# かざま うら

## 議会だより

### 大きくなって 帰ってきてねー!!



易国間川にアユを放流する小学生たち

# No.87

平成29年7月12日発行

■発行:青森県風間浦村議会  
■編集:議会広報編集委員会  
〒039-4502 青森県下北郡  
風間浦村大字易国間字大川目28-5  
TEL 0175-35-2115(FAX兼用)

- 2 ■ 定例会のあらまし
- 4 ■ 議会運営委員会報告
- 4 ■ 委員会報告
  - 総務常任委員会
  - 大間原子力発電所対策特別委員会
- 7 ■ 一般質問
- 12 ■ ちょっと一言・編集後記

6月  
定例議会  
めらまし



金森 一規 議長



富岡 宏村 長

平成29年第2回定例会が6月6日開会され、報告2件・専決処分3件・人事案件8件・条例案2件・損害賠償の和解2件・補正予算2件すべて全会一致で承認、同意、可決し8日に閉会。

報告案

全会一致承認

☆平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書

内容・7事業1億1千158万8千円を平成29年度へ繰越

(主な事業)

- 防災無線中継局改修事業、臨時福祉給付金事業(経済対策分)、活イカ備蓄センター改修事業、教員住宅建設事業

☆平成28年度一般会計事故繰越し繰越計算書

内容・村勢要覧作成事業162万円を平成29年度へ繰越

(理由) 前村長急逝による大幅な内容修正に伴う遅延。

専決処分承認案

全会一致承認

☆条例改正(3月14日付け)

内容・①青森県市町村総合事務組合規約の変更  
・構成団体の減による変更

☆条例改正(3月31日付け)

内容・①税条例の一部改正

- ・軽自動車税のエコ減税の延長等の改正
- ②国民健康保険税条例の一部改正
- ・保険税の減額の上限を引き上げる改正
- ③半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正
- ・適用期間を2年延長する改正
- ④過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正
- ・適用期間を2年延長する改正

☆平成28年度補正予算(3月31日付け)

○一般会計補正予算

内容・1千77万3千円の追加で、合計26億3千406万8千円となった。

歳入の主なもの

- ・村税 347万円の減額
- ・地方譲与税 397万5千円の減額
- ・地方交付税 2千105万3千円の追加
- ・村債 250万円の減額

歳出の主なもの

- ・電子計算費委託料合計 414万4千円の減額
- ・除雪委託料 210万円の減額
- ・非常備消防事務委託料 200万円の減額
- ・財政調整基金積立金 2千800万円の追加

○簡易水道特別会計補正予算

内容・150万円の減額で、合計1億604万5千円となった。

歳入

- ・繰入金 150万円の減額(一般会計繰入金)

歳出

- ・電気料 150万円の減額

条例案

全会一致可決

☆村例規集の内容精査に伴う現行条例の用語等の統一等に関する条例

内容・現在の例規集の内容を精査する際に、これまで条例毎に表現が異なっている字句

等を統一するために必要な事項を定める  
条例

### ☆村有住宅管理使用条例の一部改正

内容・現在、一部事務組合下北医療センター所  
有の診療所に隣接している医師住宅を村  
の所有に変更する条例

## 損害賠償の和解

全会一致可決

### ☆保育所送迎バス破損事故に係る損害賠償の和解

内容・保育所送迎バスの破損部分の修繕費用に  
ついて、相手方が負担する。

### ☆公用車破損事故に係る損害賠償の和解

内容・村所有車両の破損部分の修繕費用につい  
て、相手方が負担する。

## 補正予算案

全会一致可決

### ☆平成29年度一般会計補正予算

内容・2千428万6千円の追加

歳入

- ・県支出金 598万6千円の追加（未  
来を変える元気事業補助金他）
- ・繰入金 1千400万円の追加（財政  
調整基金）
- ・諸収入 430万円の追加（一般コ  
ミュニティ助成金）

歳出の主なるもの

- ・マスケットキャラクター製作関係経費  
141万9千円の計上
- ・易国間地区祭典備品購入事業助成金  
230万円の計上

### ☆平成29年度簡易水道特別会計補正予算

内容・672万1千円の追加で、合計9千95  
0万5千円となった。

歳入の主なるもの

- ・雑収入 660万円の追加

歳出の主なるもの

- ・易国間配水管布設替工事関係経費 6  
60万円の計上

- ・下風呂温泉整備関係経費 734万2  
千円の計上
- ・婚活事業関係経費 312万3千円の  
計上

- ・第二分団消防屯所屋根葺替工事費  
171万7千円の計上

- ・子ども学習塾用タブレットリース料  
75万2千円の計上



富岡村長所信表明

### ◎同意・可決された人事案件

#### 《全議案、全会一致同意及び可決》

#### 【風間浦村農業委員会委員の任命】 7名

今期改選より、これまでの選挙制から議会の  
同意を求める村長の任命制に改正。

任期・平成29年7月20日から平成32年7  
月19日までの3年間

- ・杉山國雄氏（79歳）
- ・坪田久雄氏（67歳）
- ・木下重利氏（61歳）
- ・山本巖氏（69歳）
- ・澤井まち子氏（62歳）
- ・菊池富士子氏（62歳）
- ・高橋宗隆氏（80歳）

#### 【人権擁護委員の推薦】

3名の人権擁護委員のうち欠員となっていた  
1名を新たに推薦する。

- ・鹿角節子氏（63歳）



人事案件の投票

# 議会運営

5月28日開催

(欠席委員なし)

平成29年第2回6月定例会の運営に関する事項について審議。



杉山 太  
委員長

日招集の意向を受け、提出となる案件等を勘案した結果、会期は、同日より8日までの3日間とする。

☆定例会は  
今期定例会は、6月6



委員会の様子

長報告並びに一般質問まで。一般質問通告者は5名。  
7日は休会とし、総務常任委員会並びに大間原子力発電所対策特別委員会を開催する。

8日は本会議において議案等の審議を行う。

☆人事案件の提案がある  
場合としての表決方法

は  
提出予定案件8件のうち農業委員会委員同意議案7件は、候補者選考委員会の答申を受けての提案であるので、7件一括起立採決とする。人権擁護委員推薦議案については、従来どおり無記名投票とする。

☆諮問は  
受理した陳情なし。

☆その他  
6月から9月の間は、例年どおり夏季の軽装にて会議等を行う。

# 総務常任



菊池 隆年  
委員長



委員会の様子

5月24日開催  
(欠席委員なし)  
所管事務調査案件について審査を行った。

## 行政からの報告

①村民生活課

「風間浦保育所指定管理事業」

問 委員

答 本部経費等理解し難い項目がある。しっかりとした協議を。

問 行政側から

答 本部経費は、本部職員経費を各施設に按分している。

問 委員

答 協定額(指定管理料)が安すぎてもどうかと思う。十分協議し妥当な金額で協定すべき。

問 行政側から

答 今後は、処遇改善等の経費も含め協議していく。

## ②産業建設課

「平成29年度 工事進捗状況」

・新甲平ノ上団地建築工事等について説明

## ③教育委員会

「平成29年度 事業進捗状況」

・風間浦小学校教員住宅建築工事について説明

## ④総務課

「職員採用計画」

・平成30年4月上級2名、初級1名の採用予定と今後5年間の採用計画について説明

## ⑤富岡村長

「下風呂温泉整備事業」

委員

まずは議会への報告でなかったか。

行政側から

現時点での自分の思いではあるが、スピード感を持って取組みたい。

委員

財源は何か。

行政側から

核燃料交付金と過疎債を考えている。

## 『まとめ』

「下風呂温泉整備事業」

については、必要に応じて全員協議会・特別委員会設置が必要であるが、総務常任委員会としては、状況を見て随時委員会を開催し説明・報告を求めることとする。

## 6月7日開催

(欠席委員なし)

6月6日招集の第2回

定例会において本委員会に付託された、議案について審査を行った。ただし、報告事項、人事案件及び損害賠償の議案は除く。

## 付託された議案

①議案第21号 専決処分  
の承認  
(青森県市町村総合事務組合規約変更)

②議案第22号 専決処分の承認  
(条例の一部改正)  
(国民健康保険税条例の一部改正)

(半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正)

(過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正)

③議案第23号 専決処分の承認  
(平成28年度一般会計

補正予算)

(平成28年度国民健康保険特別会計補正予算)

④議案第32号 例規集の内容精査に伴う現行条例の用語等の統一等に関する条例

⑤議案第33号 村有住宅管理使用条例の一部改正

⑥議案第36号 平成29年度一般会計補正予算

⑦議案第37号 平成29年度簡易水道特別会計補正予算

会議では、議案順に担当課より説明後質疑を行った。

委員

村有住宅管理使用条例の一部改正で、入居者は誰か、使用料は固定か。

行政側から

入居者は、行政運営上必要である者とし、「ALIT」「保健師」等を想定しており、使用料は固定である。



村有になる医師住宅

一般会計補正予算

**問** 委員長  
一般コミュニケーション事業の内容は。

**答** 行政側から  
宝くじ事業で、自治会連絡協議会で説明し、易国間地区のみ申請があり交付決定されたもの。

**問** 委員長  
マスケットキャラクター事業の内容は。

**答** 行政側から  
村内外の観光イベント等で使用する目的で、デザインは村内小中学校へ夏休み中に募集し、年明け2月を目処に完成させたい。

**問** 委員長  
婚活事業の内容は。

**答** 行政側から  
7月下旬、夏のイベント時及び冬のイベント時で企画予定で、委託事業

者・村・地元団体が一体となって実施する。

**問** 委員長  
ウニ牧場の事業の内容は。

**答** 行政側から  
これまでイベントがない春から初夏にかけて実施予定である。今年は、30人から50人位をモニターとして募集して行い、問題点等の洗い出しをする。将来的には、民

間団体等が主体となり収益を得る事業としたい。

審査結果

付託された7議案に対し、全会一致で承認並びに可決とした。



ウニ牧場の模擬体験

大間原

3月9日開催

(欠席委員2名)

☆新規制基準適合性審査の対応状況について

電源開発株式からの報告

これまで14回の審査会合が開催されており、直近2回の審査会合の内容についての説明がされたが、特段のコメントはなかったとのこと、会社独自で行う追加地質調査計画の概要が説明された。

**問** 委員長  
地質調査箇所・範囲・山津波対策の調査は。

**答** 電源開発から  
立地地形上、山津波は想定しておらず、地滑り等斜面崩壊に起因する津



平井 賢一  
委員長

波結果についても最高水位は5.2mで問題はない。

☆大間原発三ヶ町村協議会の報告について

委員からの要望

現状の協議会のあり方、今後のあり方について幹事会等を通して、議事内容等を進めて行くように。



電源開発株式会社

# 村政を問う！ 一般質問

◎一般質問とは、定例会（臨時会は除く。）において、議員が、あらかじめ村長に通告して、村の施策の状況や方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においての一質問者の持ち時間は、質問答弁を含め1時間に制限されています。今期定例会では、富岡村長の『所信表明』を受けて5名の一般質問が行われました。



中嶋 茂 議員

## 水産業振興対策について

**Q** 中嶋 具体的な漁業後継者対策は

**A** 村長 漁業後継者の支援制度の創設を考える。

近年においては、漁業後継者不足に拍車がかかり、村としては「名物応援村づくりプロジェクト」において、漁業後継者の自立支援を目的とした支援制度の創設を考えている。

**Q** 中嶋 コンブ・ワカメ等の養殖事業への取り組みについて

**A** 村長 初期投資の資材購入費の一部助成を考える。

安定的な収入が見込める養殖漁業に参入する漁業者に対し、初期投資の負担を軽減すべく、資材購入費の一部助成を考えており、管内3漁協のご協力を得ながら進めていきたい。

**Q** 中嶋 鉄鋼スラグの現状、水産多面的事業の今後の成果は

**A** 村長 鉄鋼スラグ投入海域でウニの密度管理を引き続き実施する。

鉄鋼スラグの調査結果は、本年5月、易国間漁協が船上から目視調査を実施した結果、磯焼け海域と同様の状態で藻場としての機能が果たされていない。

対策として、鉄鋼スラグ投入海域において「ウニの密度管理」の実施を続ける。水産多面的事業の今後の成果については、現在十分であるという状況でないため、今後とも現在の活動を支援すべく3割負担を継続しながら藻場回復を目指す。



ひじき採り



蛸島 巨 議員

## 旧小学校の活用をどう考えているか。

**Q** 蛸島 旧蛇浦小学校の耐震検査の結果は

**A** 村長 耐震補強が必要である。財源の確保に全力を尽くす。

旧蛇浦小学校の建物は、上部構造耐力評価点数が基準より低く、「倒壊する可能性が高い」との判定結果となった。

同校舎は蛇浦地区の防災の拠点という位置づけと文化財の保存や展示の機能を持つ施設として活用する計画がある。まちづくり委員会からは農林漁業などによる交流人口を図る施策に活用できる施設としての検討も求められており、村民の生命財産を守るため、木造校舎を有効利用するためにも耐震補強に要する財源の確保に向け全力を尽くしているところである。

○蛇浦地区で学校活用についての懇談会の予定は

学校利用の将来像などを検討し、議会や蛇浦地区の皆様の意見を伺いながら早急に対応したい。

**Q** 蛸島 旧易国間小学校は新庁舎として考えているのか

**A** 村長 旧校舎を解体し、役場庁舎・消防分署・中央公民館の移転を考えている。

「安心安全な村づくりと公共施設の整備」の中で国の緊急防災・減災対策事業が平成32年度まで延長になり、この機会を逃すことなく、老朽化した庁舎等を当該学校敷地内に移転整備を図りたい。

**Q** 蛸島 オフサイトセンター候補地の結果までの旧下風呂小学校の避難所以以外の利用は

**A** 村長 今は静観している。

オフサイトセンターの候補地として誘致中であるため、青森県の総合的判断の不利にならないためにも静観させてもらいたい。



旧易国間小学校



旧蛇浦小学校



旧下風呂小学校



杉山 太 議員

1. 豊かな森林資源の活用について  
2. 空き家バンク整備・活用事業について

**Q1** 杉山 どのようなことを主要な目的と考えているか。

**A** 村長 森を育てるじつ。

村内全域をカバーする長期的計画スパンによる森林の整備を進めたい。

また、これまでの林業政策において村内の林地に張りめぐられた作業路の活用が不可欠となる。ただ年次の計画を練るためにも効率的な展開を図る観点から既存の作業路網を再整備または活用し、施業計画を立てる事から進めつつ、国・県の森林施策を研究し有意義な事業の組み合わせを検討し、村内の林家が有益と思える事業組み合わせを検討していく。

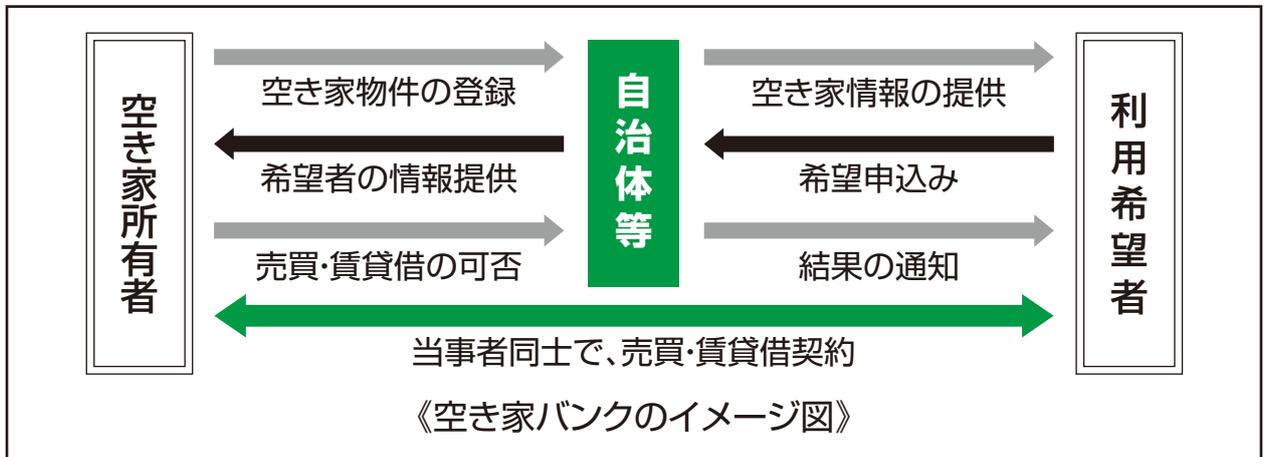
**Q2** 杉山 当該事業の取り組み状況は

**A** 村長 今年度、空き家バンク設立に向け準備作業を進める。

昨年度末に空き家の所有者情報把握調査を実施した結果、村内の空き家件数82件のうち8割の所有者を把握でき、今年度は、この所有者に対し、空き家バンク登録意思の有無を含めたアンケート調査を実施し、空き家バンク設立に向け準備作業を進めていく。

運営方法は、現在調整中だが平成30年度以降、空き家バンクを定住情報の一つとし、所有者が賃貸あるいは売買等の情報を登録し、その情報提供を行う予定である。

一般質問



村内の豊かな森林



菊池 隆年 議員

1. 子育ての環境整備について  
2. 公共施設の整備について

Q1 菊池 具体的な施策内容と時期は

A 村長 現在の事業継続。今後も必要に応じてICT環境整備を検討する。

子育て支援事業としての「保育料の第2子以降の無料化」、「中学校卒業までの医療費の無料化」のほか、乳幼児健診や育児学級等の各種事業を継続して実施してきている。今後もこれらを継続しながら、保護者の意見等を取り入れながら支援事業を拡充し、保育所においては英語カリキュラム導入など、幼児教育の充実を図っていく。

Q2 菊池 役場・消防分署・中央公民館の移転整備に係る検討はしているか。

A 村長 平成32年度までの緊急防災・減災対策事業に合わせできるだけ限り早急に！

役場庁舎・消防分署・中央公民館の移転整備については、国の緊急防災・減災対策事業のタイムリミットが平成32年度までとなっているので、他の事業との兼ね合いを見定め、村財政の負担にならないよう検討し、できる限り早急に着手したい。

財源は、主に充当率が100%で、元利償還金の70%が地方交付税に参入される国の緊急防災・減災対策事業債の活用を考えている。

移転場所は、青森県作成の津波ハザードマップの危険浸水エリアから除外されている旧易国間小学校敷地内を考えている。



消防分署



中央公民館



役場庁舎



酢谷 一利 議員

1. 産業政策での村起こしについて  
2. 不納欠損に取り組む姿勢について

Q1 酢谷 「磯資源の復活」進め方は

A 村長 水産多面的機能発揮対策事業の活用によるウニ密度管理の継続

磯焼け対策は、一朝一夕に効果が出ない。現在、3漁協が中心となり取り組んでいる「水産多面的機能発揮対策事業」を活用したウニ密度管理等の活動に対し、村としても活動費の3割相当額を負担し支援していく。

Q1 酢谷 「森林資源の活用」取り組みは

A 村長 年次計画を策定し、森林環境保全事業の申請を計画している。

本年度は、下北森林組合が実施主体である「森林環境保全整備事業」を活用し、易国間地区の村有林を整備する。来年度以降は、範囲を村内全域とし、作業路の除草・整備を進め、事業実施のための林地の状況確認後に年次計画を策定し、林家の集約と承諾作業を進めた後に森林環境保全事業の申請を行う予定である。

Q1 酢谷 「下風呂温泉再整備」の進め方・方向性・スケジュールは

A 村長 移転統合し、平成32年4月営業開始を目指す。

空き家対策をはじめ、大湯・新湯の湯量の確保や駐車場の整備、温泉郷における人の流れ、バス停の箇所、世界の文豪井上靖が滞在した部屋の保存等を考え、下風呂本通りにある廃業及び旅館中の旅館とその周辺の民家の空き家を含め買収し、温泉街全体の環境整備と下風呂温泉郷の活性化を図りたい。

今年度の早い時期に、基本構想の策定業務を委託し、地域での説明会を考えている。さらに、土地・家屋の所有権移転と家屋の解体や温泉のモニタリング調査を予定している。平成30年度は、建設に係る実施設計等を、平成31年度には建設工事に入り、3年後の平成32年4月1日営業開始を目指す。

Q2 酢谷 不納欠損改善点の有無及び対策は

A 村長 時効の中断を徹底的に行う！

税の未納については、一部納付などにより時効の中断をし、時効期間の延長を行い、時効による不要な不納欠損がないように努め、引き続き督促状及び催告状の発布や戸別訪問徴収、県税部との共同徴収、滞納整理機構への移管等を実施するとともに、所得税及び医療給付費等の差押え、誓約書の取り交わしによる毎月の納付計画の約束、保険証の資格証及び短期給付などを実施していく。

税以外の料等についてもそれぞれの対応を強化していく。村民が不公平感を持つことがないよう、収納対策委員会において協議検討を重ね、情報の共有を図りながら、全庁的な体制をもって徴収対策に取り組んでいく。



整備計画が示された「大湯・新湯」

# ちよつと一言

# 地域の 元気な お年寄り!!

元気が一番 ～蛇浦地区ふのり採り～



ちよつと一言  
編集後記

## 孫のために、頑張って採ります。

昔は、地域そろっての海の行事だった「ふのり採り」!! こびり（おやつ）を持って、にぎわった浜の祭りでもありました。今は、人も減って減って、採る人も少なくなり、唯一の楽しみは「孫におやつを買ってあげること」と話し、それを楽しみに頑張っているとのことでした。（取材：中嶋）

## 編集後記



研修会の様子

◇議会広報編集委員会  
委員長 蛸島 巨  
副委員長 中嶋 一利  
委員 中嶋 隆年  
" " 菊池 茂  
" " 杉山 太

（文：杉山）

住民の皆様には、いつも「かざまうら議会だより」をご愛読くださりありがとうございます。5月25日「議会広報研修会」に参加してきました。県内各町村議会の広報委員が一同に会して広報誌のレベルアップを目的に年一回開催されています。今後も『見たくなる』広報誌を目指して頑張つてまいります。